



日本共産党市会議員

# かつまた みつえ の

市議会レポート No. 1



## 多摩市の廃プラスチック問題

日本共産党の市古てるみ議員は、6月21日の市議会本会議で代表質問に立ち、多摩市が建設を計画している廃プラスチック処理施設問題で、「麻生区・はるひ野地区に隣接する多摩市の廃プラスチック処理施設は、圧縮の過程で様々な化学物質が発生するといわれ、市民から不安と建設見直しの声広がっている。市民が納得できるまで着工しないよう多摩市に改めて川崎市として要請すべきである」とのべ、市当局の見解を求めました。環境局長は「施設の安全性を確保し、住民の不安を解消する責任は事業者である多摩市にある」とし、「住民の理解を十分に得ながら進めるよう引き続き要請していく」と答えました。

はるひ野住民が納得するまで  
着工しないよう市として要請を  
—日本共産党が代表質問—

## はじめて質問に立ちました

☆休日急患診療所

☆市営団地ベランダ手すり

☆コミュニティーバスなど

かつまた市議がみなさんの要望をもとに初質問しました

今年のいっせい地方選挙で、麻生区から待望の日本共産党議席を獲得した**かつまた みつえ**市議は、6月定例会で、一般質問に立ち、休日急患診療所の機器整備、はるひ野駅駐輪場、市営高石団地のベランダ手すりの改修、コミュニティー交通について質問しました。

はるひ野地域のまちづくり問題

かつまた市議、「駐輪場設置」を要求……本会議で一般質問

二九日の市議会本会議では、**かつまた みつえ**市議が麻生区・はるひ野地域住民から出されている「駅周辺の駐輪場設置」要求をとりあげ、市の見解をたどりました。同市議は「はるひ野地域は開発が進み、小田急線・はるひ野駅利用者も増え、住民からは『駅整備と併せて自転車置き場をつくってほしい』との要望が出ています。市の駐輪場設置計画はどのようになっているか」とたどりました。これに対し、建設局長は「約八〇台収容の駐輪場を平成一九年度末までに設置する予定（事業者は「都市再生機構」と伺っている」とのべました。**かつまた**市議は「すでに一〇〇台以上が放置されている。もっと広い駐輪場を」と重ねて求めました。建設局長は「今後必要に応じて検討する」と答弁しました。

発行

市議会議員 **かつまた みつえ**事務所 044-987-1053

2007年6月29日

連絡先: 日本共産党川崎市議団 044-200-3360

—市政報告—